

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-507888(P2000-507888A)

【公表日】平成12年6月27日(2000.6.27)

【出願番号】特願平9-534025

【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 59/04

B 2 9 C 51/08

B 2 9 C 53/22

【F I】

B 2 9 C 59/04 C

B 2 9 C 51/08

B 2 9 C 53/22

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月15日(2004.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年03月15日

特許庁 長官 殿

1. 事件の表示 特願平09-534025

2. 補正をする者

住 所 独 国 ベルリン 13465 クロイツリッテルシュトラッセ 31

氏 名 ミルツ フランク

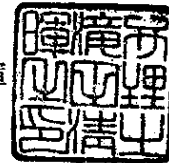
3. 代理人

住 所 東京都新宿区歌舞伎町2-41-12 岡埜ビル7階

電話番号 03-5273-7695

ファックス 03-5273-7696

氏 名 (8763) 弁理士 滝田 清暉



4. 補正により増加する請求項の数-15

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 特許請求の範囲

7. 補正の内容 別紙の通り



(別紙)

請求の範囲

1. 屈曲した材質面が間隔をおいて相互配置された支持体上で支えられ、向かい側において特に空気あるいは油圧あるいは弾性プラスチックにより、浮き出し折り目からなる壁構造が自己形成するように変形圧力が加えられ、支持体(3)が内側へ曲がることを特徴とする浮き出し構造化方法。
2. 支持折り目が相互に支えることを特徴とする、請求項1に記載の浮き出し構造化方法。
3. 平面図において紋章形あるいはしずく状形の浮き出し構造が形成されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の浮き出し構造化方法。
4. まず材質面の自己形成による調整浮き出し折り目の寸法が決定され、その後で支持体(3)が浮き出し折り目の寸法に適合され、その際支持体(3)が剛性であり得ることを特徴とする、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の浮き出し構造化方法。
5. 浮き出しの事後伸延、または浮き出しを生じさせる初期圧力と事後伸延の圧力強化を有する二段の浮き出しと共に、前記事後伸延における材質面と支持体缶の材質面(1)摩擦を特徴とする、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の浮き出し構造化方法。
6. 変形圧力を生じさせるために柔軟性圧力ローラー(4)あるいは凹形クッション(12)を使用することを特徴とする、請求項1乃至5のいずれか1項に記載の浮き出し構造化方法。